

委員会視察成果報告書

平成 5 年 10 月 11 日

犬山市議会議長

議員名 柴山一夫

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	平成 5 年 10 月 3 日(火) ~ 平成 5 年 10 月 4 日(水) (泊 2 日)
(2) 視 察 地	熱海市・墨田区
(3) 視察の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 常任・特別 委員会 (建設委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	別紙参照
(5) 犬 山 市 に 対する提言	



令和5年10月11日

令和5年度建設経済委員会視察報告書

建設経済委員会委員
柴山一生

視察先：熱海市、墨田区

視察日程：令和5年10月3日（熱海市）～10月4日（墨田区）

視察目的：熱海市/中心市街地の再生 墨田区/河川空間の利活用

熱海は有名な観光地でありながら今までに一度も行ったことがなかったので時間があれば有名ポイントを回るべきであった。視察ということで、時間的な余裕がなくまた坂の大変多い街なので自力で歩くのは不可能であった。タクシーかレンタカーでも借りて回っておくべきだった。

① 今回の視察ポイントは、「熱海の夜」。箱崎晋一郎の歌ではない。昭和9年に丹那トンネルが完成し、東海道本線が熱海を通るようになってから、熱海は関東圏の人々にとって大変魅力的で近い観光地となったが、1964年の年間506万人の宿泊者数をピークに2011年には半分以下の247万人となっていた。しかしその後回復傾向にあり、2020年には、310万人まで回復した。

ただし、熱海の夜の人出は、回復せず、様々な施策を打っているが、校下はあまり見られない。犬山も昼の観光客数と夜のそれとは大変な差がある。熱海の例を参考に、犬山の夜の賑わい作りができないものか検討したい。

熱海市の夜の賑わい創出施策

- ① 5時以降利用可能クーポンを発行
- ② 夜の店のPR（商工会議所前にデジタルサイネージ設置）
- ③ 糸川
- ④ 桜並木をライトアップし、夜の店の看板を周囲に設置
- ④ 熱海市とJT Bで再びビジネス利用、慰安旅行の窓口を復活させ、ホテルの部屋を改装しその改装費用に対して補助金を出す。ビジネス利用あるいは慰安旅行のプロモーション活動に対して補助金をだす。

因みに、熱海の旅館は囲い込みつまりレストランやバーなどを自前で持って宿泊客を外にださない運営をしていないかという質問には、「人手不足」で自前でバーを持ったりすることができなくなってきたので、期せずして囲い込みをしない方向に熱海温泉旅館は進

化しているようだ。

犬山への提言

犬山も昼間の人口は快適に観光をするための人数はもうすでにお越しいただき、定着しているのではないかとと思われる。

跡は、夜だが、游月庵の成功体験を大切にしたいと思う。犬山らしい古民家を再生し、静かで穏やかな空気感の中で体を休ませ、食事やアルコールや歌や新たなる出会い、街へ繰り出して獲得していくという、街全体が一つの体の様にお互いを支えあう構造を作るようにしていくべきであろうと思われる。

②河川空間の利用

昨年末に全く同じ場所を同じ目的で視察しているので、違った視点で視てみようと思った。

「実際、賑わいは創出されているのか」

われわれが、国技館横の堤防にしつらえられた階段には、数名のサラリーウーマンが腰かけてランチをしていた。小雨の日であったが階段の上空には首都高が走っているので、少しうるさくはあるが、雨は落ちてこない。

ここに、遊覧船の船着き場があり、それに両国リバーセンターで乗船し、浅草船着き場で降りた。

お目当ては、その堤防上に建てられ営業しているタリーズコーヒー隅田川テラス店だ。席は12席ほどしかない。大変こじんまりとしたお店だ。お客さんは3、4名。正直、その辺のコンビニのほうがテイクアウトお客の数は多いに違いない。

犬山への提言

穿った見方だろうが、行政主導ではどうしてもこういった（採算度外視、自然な賑わいが見られない）施策なののだが、地元住民や民間業者との本当に細かなとこまで突き詰めた議論を何度も行っておくことが必要だろうと思う。